

株主のみなさまへ

第109期 報告書

2016年4月1日～2017年3月31日

CONTENTS

株主の皆様へ	1
第109 回定時株主総会決議のご通知	1
連結決算ハイライト(前年同四半期比)	1
営業のご報告	2
事業の概要	3
事業別製品の紹介	3
決算の状況(連結)	5
業績の推移(連結)	6
2018 年 3 月期 通期業績予想	7
配当について	7
中期経営計画(Together To The Top)進捗レポート	7
企業情報	9
会社概要/役員	9
株式事項/グローバルネットワーク(主な拠点)	10
株主メモ	11
株式に関する諸手続のご案内	11

Together To The Top

代表取締役会長
兼最高経営責任者

判治誠吾

代表取締役社長
兼最高執行責任者

樫山恒太郎

第 109 回定時株主総会決議のご通知

平成 29 年 6 月 29 日開催の当社第 109 回定時株主総会におきまして、
下記のとおり報告並びに決議されましたので、ご通知申し上げます。

報告事項

- 第 109 期（平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日まで）事業報告、連結計算書類並びに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件

本件は、上記の内容を報告いたしました。

- 第 109 期（平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日まで）計算書類報告の件

本件は、上記の内容を報告いたしました。

決議事項

第 1 号議案 剰余金の処分の件

本件は、原案どおり承認可決されました。

第 2 号議案 取締役 6 名選任の件

本件は、原案どおり承認可決されました。

第 3 号議案 補欠監査役 1 名選任の件

本件は、原案どおり承認可決されました。

第 4 号議案 役員賞与支給の件

本件は、原案どおり承認可決されました。

連結決算ハイライト（前期対比）

1 連結決算概要（2017 年 3 月期）

売上高

売上高は850億円と、前期対比36億円（4.5%）の増収。自動車用エンジン軸受は、高付加価値エンジン軸受の増加やターボチャージャー用軸受の増加などにより国内外で伸長した。

一方、非自動車用軸受では、外部環境の影響を受け船舶向け及び建設機械向けが減少した。また自動車用軸受以外部品として第4四半期より飯野グループの売上が加わった。

利益

国内外での積極的な事業拡大による販売管理費などの増加、企業買収による一時的な費用の増加、また船舶向け及び建設機械向け売上高が減少したことなどにより、営業利益は20.1億円の減益となり、経常利益は13.6億円の減益となった。

また、親会社株主に帰属する当期純利益は日本及び英国の子会社で固定資産減損損失を24.4億円計上（当期利益の影響は10.8億円）した結果12.8億円の減益となった。

単位：百万円（百万円未満四捨五入、比率は表示単位未満四捨五入）

連結 過期業績	【前期】 2016/3月期	【当期】 2017/3月期	対前期比	
			増減額	増減率
売上高	81,400	85,073	3,672	4.5%
営業利益 (同利益率)	7,114 (8.7%)	5,103 (6.0%)	△ 2,010	△ 28.3%
経常利益 (同利益率)	6,796 (8.3%)	5,427 (6.4%)	△ 1,368	△ 20.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益 (同利益率)	3,919 (4.8%)	2,635 (3.1%)	△ 1,284	△ 32.8%

2 所在地別売上高・営業損益

【国内】売上高は、前期対比3.2%の増収。営業損益は大同メタル佐賀の稼働など積極的な事業拡大による販売管理費などの増加を受けて減益となった。

【自動車関連】国内自動車生産台数の減少や軸受生産の海外移管などによる売上高減少を高付加価値エンジン軸受やターボチャージャー用軸受の増加で補い微増。

【建設機械向け】4Qからの回復傾向により微増。

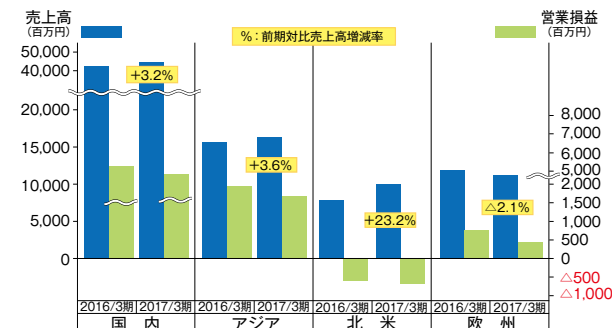
【船舶向け】中低速ディーゼルエンジン用軸受全般にわたり売上減少。

【一般産業向け】発電設備等のタービン用特殊軸受の需要が堅調。電気二重層キャパシタ用電極シートの売上が増加。

【アジア】売上高は韓国が減少となったものの中国、タイを中心に増加し3.6%の増収。一方、積極的な事業展開に伴う販売管理費などの増加で減益となった。

【北米】自動車用エンジン軸受の販売拡大により、23.2%の増収。一方、建設機械向けの軸受販売の減少や、自動車用エンジン軸受の急激な増産に伴う経費増加などが営業損益の下振れ要因となった。

【欧州】自動車関連を中心に堅調に推移し、総売上は現地通貨ベースでは増収となるも、船舶（産業）用の軸受販売の減少と、為替の影響等により減収・減益となった。



株主・投資家の皆様には、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。ここに、当期、(2017年3月期)における営業の概要についてご報告を申し上げます。

当期における当社グループの連結業績につきましては、売上高は850億73百万円となり、前年度比36億72百万円(+4.5%)の増収となりました。

うち、国内は同14億65百万円(+3.2%)の増収となりました。これは、国内自動車メーカーによる国内生産台数の微減や、船舶・建設機械分野の落ち込み等による影響を受けたものの、新分野の電気二重層キャパシタ用電極シート等が伸長したことに加え、第4四半期より株式会社飯野ホールディングが連結対象となり、売上高に寄与したことによるものです。

海外におきましても、同22億7百万円(+6.0%)の増収となっております。拠点別では、アジアは、中国、タイにおける増収が大きく貢献して前年度比5億77百万円(+3.6%)の増加となり、北米は建設機械分野は落ち込んだものの、メキシコにおける予想を超える自動車用エンジン軸受の生産増加により前年度比18億89百万円(+23.2%)の増加となりました。一方、欧州(ロシアを含む)は、自動車分野のビジネスの拡大により現地通貨ベースでは増収となったものの、為替の影響を受けて前年度比2億59百万円(△2.1%)の減収となりました。

利益面につきましては、船舶・建設機械分野の世界的な市場の低迷から、高付加価値製品の国内外の需要が落ち込んだこと、及びメキシコにおけるユーザーからの大幅かつ急激な増産要求に応えるべく、品質、納期を優先した対応に伴う製造及び物流コストの増加により、当年度達成予定の黒字化計画は未達に終わったことなどの影響により、営業利益は51億3百万円と、前年度比20億10百万円(△28.3%)の減益となりました。経常利益につきましては、為替差損が大幅に減少したことなどにより、54億27百万円と前年度比13億68百万円(△20.1%)の減益に留まりました。また、親会社株主に帰属する当期純利益は、当社の連結子会社であるエヌデーシー株式会社の土地、及び同大同インダストリアルベアリングヨーロッパLTD.の製造設備等の固定資産について減損損失を計上したことにより、26億35百万円と前年度比12億84百万円(△32.8%)の減益となりました。なお、連結業績には影響いたしませんが、当社の連結子会社である大同メタルU.S.A. INC.及び大同インダストリアルベアリングヨーロッパLTD.の関係会社株式評価損として、それぞれ39億59百万円と1億42百万円を、個別決算に計上しております。

現在の喫緊の課題といたしましては、大同メタルU.S.A. INC.における急激な受注増に伴い発生した、生産拠点である大同メタルメキシコS.A. DE C.V.での生産の混乱とそれに伴うコスト増加の問題がございます。当社グループの総力を挙げた取り組みにより生産は正常化しつつあり平成29年度には黒字化を計画しております。

また、エヌデーシー株式会社では、国内自動車メーカーによる国内生産台数の減少傾向を受け、大規模な用途別生産再編を加速させており、早期の黒字転換を計画しております。

当社は次期中期経営計画を現在策定中であり、当社の経営体質を強化するとともに、業績面でも次のステージを展望し、更なる飛躍を目指した意欲的な計画となる見込みです。

従来からの基本方針である、すべり軸受の全ての産業分野において世界市場でトップシェアの獲得を引き続き目指す一方で、中長期的な製品・事業の多角化と多面的な拡大を目指し、平成28年度に株式会社飯野ホールディングとATAキャスティングテクノロジージャパン株式会社を連結子会社化いたしました。

株式会社飯野ホールディングにつきましては、自動車のエンジンやトランスミッション周辺の高精度・高品質部品(曲げパイプ、ノックピン、NC切削品等)の製造・販売を行っており、ATAキャスティングテクノロジージャパン株式会社につきましては、タイにおいて自動車用アルミダイカスト製品の製造・販売を行っております。

2社を当社グループへ迎えて、その製品を当社グループが長年に渡り築きあげた販売網と連携させることで、更なる販路拡大を目指してまいり所存であります。

加えて、軸受以外の新たな事業の柱として、2社の連結子会社化は、その成長のベース基地を築くものであります。この2社を当社の有するグローバルな生産及び販売体制と連携させることで、益々グローバルな事業展開を加速させ、人材交流や技術・ノウハウの共有化を通じた技術力・生産力の向上、運営体制の効率化などが可能になると考えております。

これらの取り組みを通じて、当社グループとして、次期中期経営計画期間における新たな飛躍への礎を築くことを企図しております。

株主の皆様におかれましては、今後も引き続きご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2017年6月

事業の概要

軸受(メタル)とは、回転する軸を支える部品です。エンジンを始め、回転する部分がある機械には必ずといってよいほど使用されており、機械の性能を左右するほどの重要な部品です。

大同メタルが製造しているのは「すべり軸受」(プレーン・メタル、平軸受とも言う)と呼ばれる軸受で、ボールベアリングなどの「ころがり軸受」とは異なります。

一般的に「すべり軸受」は、半永久的に寿命が長く、負荷能力(支えられる重さ)は速度とともに増加し、静かで、耐衝撃性があることから、自動車、船舶、建設機械などのエンジン用軸受等に適しています。

当社は、自動車のみならず、多種多様の産業分野の軸受を手掛ける、「総合すべり軸受メーカー」です。



半割メタル



スラストワッシャー

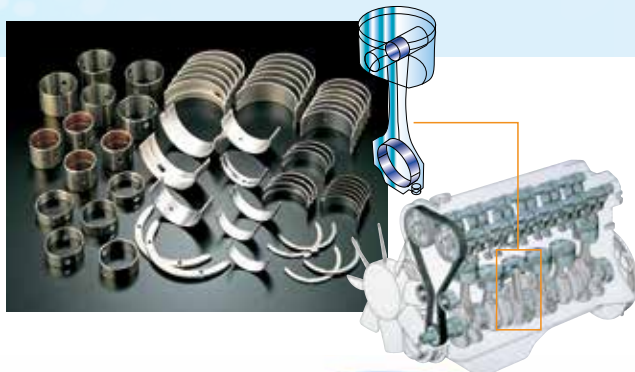


ブシュ

事業別製品の紹介

自動車用エンジン軸受

通常、自動車のエンジン部分には1台あたり平均で約20個の軸受が使用されています。当社はこの自動車用エンジン軸受において、世界シェア約32.5% (2016年暦年当社推定) のトップシェアを有しています。



自動車用エンジン以外軸受(自動車部品用軸受)

自動車では、エンジン部分以外にも、いろいろな場所に多くの軸受が使用されています。中でも当社は、ターボチャージャー用軸受(スモールターボ)では世界シェア約28% (2016年暦年当社推定) のトップシェアを有しています。また、ショックアブソーバー用軸受においても国内で極めて高いシェアを有しています。



スロットボディ用ブシュ

ターボチャージャー用
スラストベアリング

ターボチャージャー用
フローティングベアリング



パワーステアリング用
ポンプブシュ



エアコン用チップシール
(スクロールコンプレッサー)



ラックアンドピニオン
ステアリングブシュ



ショックアブソーバー用
ブシュ



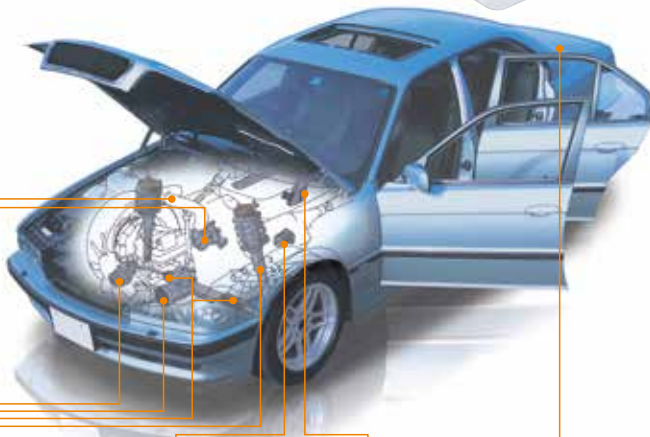
スターター用ブシュ



フロントリクライニング
シート用ブシュ



トランクリッドブシュ /
エンジンフードブシュ



建設機械・中小型船舶ディーゼルエンジン用軸受

ショベルカーなどの建設機械のエンジン部分・シリンダー部分や中小型船舶のエンジン部分に使用されています。当社は、建設機械・農業機械用の軸受においても国内外で高いシェアを有しています。



中高速ディーゼルエンジン用軸受



大型船舶エンジン用軸受

船舶のエンジンに用いられる軸受は、大きいものでは内径1メートルにもおよびます。当社は大型船舶用の軸受においても世界で約45%（2016年暦年当社推定）のトップシェアを有しています。



低速ディーゼルエンジン用軸受



一般産業用軸受・その他

オフィス用機器はもとより水力・火力などの発電設備、高速車輛、鉄道事業、免震・制振装置など、多種多様な産業分野の軸受を手掛けています。また、ロータリーポンプ、集中潤滑装置、電気二重層キャパシタ用電極シートなど、軸受以外の潤滑技術応用製品も開発・販売しています。



回転機械用軸受（タービン用軸受など）

(左) TPJB (ティルティングパッドジャーナルベアリング)
(右) TPTB (ティルティングパッドスラストベアリング)



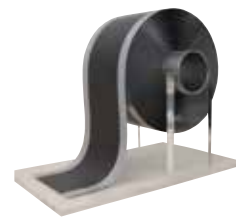
ドライバアリング



集中潤滑装置 (MR-LUB)



ロータリーポンプ



電気二重層キャパシタ用
電極シート

連結貸借対照表

単位：百万円（百万円未満切捨て）

科目／期別		前期 (2016年3月31日)	当期 (2017年3月31日)
資産の部	流動資産	60,002	68,101
	固定資産	62,918	87,183
	有形固定資産	55,324	63,290
	無形固定資産	2,124	16,631
	投資その他の資産	5,469	7,261
	資産合計	122,920	155,284
負債の部	流動負債	40,337	73,515
	固定負債	30,434	28,803
	負債合計	70,772	102,319
純資産の部	株主資本	45,729	47,249
	資本金	7,273	7,273
	資本剰余金	8,821	8,821
	利益剰余金	31,055	32,576
	自己株式	△ 1,421	△ 1,421
	その他の包括利益累計額合計	△ 1,753	△ 2,018
	その他有価証券評価差額金	886	1,145
	為替換算調整勘定	△ 159	△ 1,114
	退職給付に係る調整累計額	△ 2,480	△ 2,049
	非支配株主持分	8,172	7,733
	純資産合計	52,148	52,964
	負債純資産合計	122,920	155,284

連結キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円（百万円未満切捨て）

科目／期別	前期 (2015年4月1日～ 2016年3月31日)	当期 (2016年4月1日～ 2017年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,372	9,801
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 13,364	△ 30,821
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,989	20,679
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 217	△ 208
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	780	△ 548
現金及び現金同等物の期首残高	12,595	13,376
現金及び現金同等物の期末残高	13,376	12,827

連結損益計算書

単位：百万円（百万円未満切捨て）

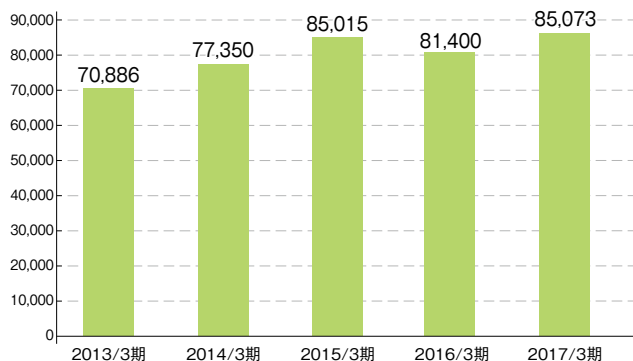
科目／期別	前期 (2015年4月1日～ 2016年3月31日)	当期 (2016年4月1日～ 2017年3月31日)
売上高	81,400	85,073
売上原価	58,599	62,982
売上総利益	22,801	22,091
販売費及び一般管理費	15,686	16,987
営業利益	7,114	5,103
営業外収益	1,153	1,123
営業外費用	1,472	799
経常利益	6,796	5,427
特別利益	202	200
税金等調整前当期純利益	6,999	3,178
法人税、住民税及び事業税	2,151	1,714
法人税等調整額	82	△ 1,086
当期純利益	4,765	2,549
非支配株主に帰属する当期純利益	845	△ 85
親会社株主に帰属する当期純利益	3,919	2,635

連結株主資本等変動計算書

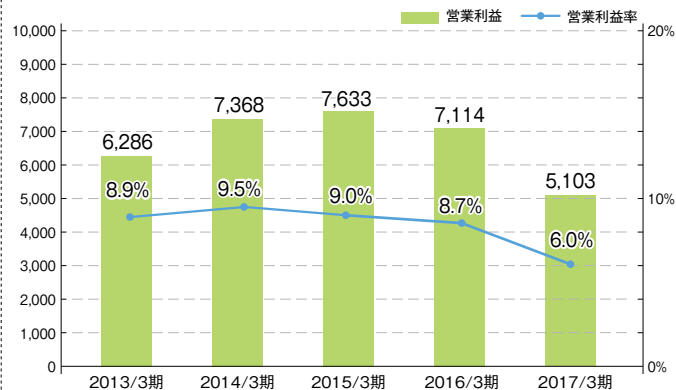
当連結会計年度（2016年4月1日～2017年3月31日） 単位：百万円（百万円未満切捨て）

科目／期別	株主資本	その他の 包括利益 累計額合計	非支配 株主持分	純資産 合計
当期首残高	45,729	△ 1,753	8,172	52,148
当期変動額				
剰余金の配当	△ 1,114			△ 1,114
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,635			2,635
自己株式の取得	0			0
非支配株主との取引に係る 親会社の持分変動	0			0
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）		△ 264	△ 438	△ 703
当期変動額合計	1,520	△ 264	△ 438	816
当期末残高	47,249	△ 2,018	7,733	52,964

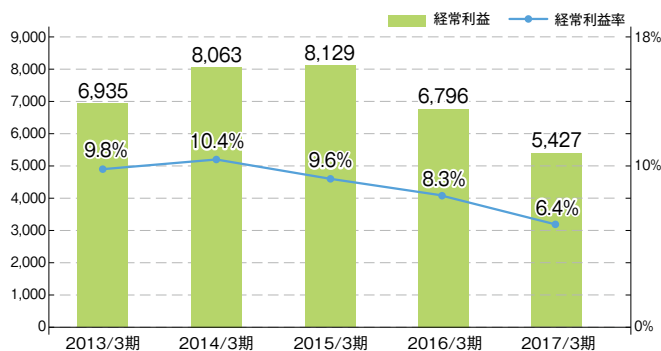
❖ 売上高



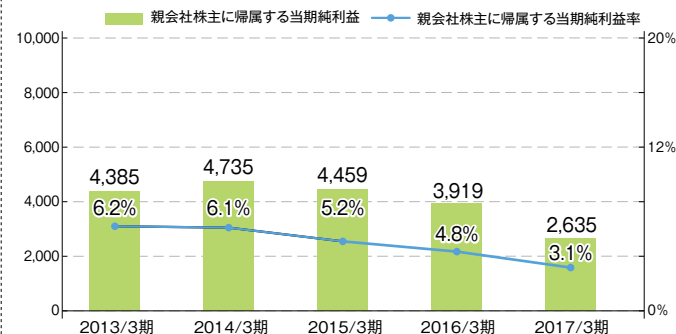
❖ 営業利益



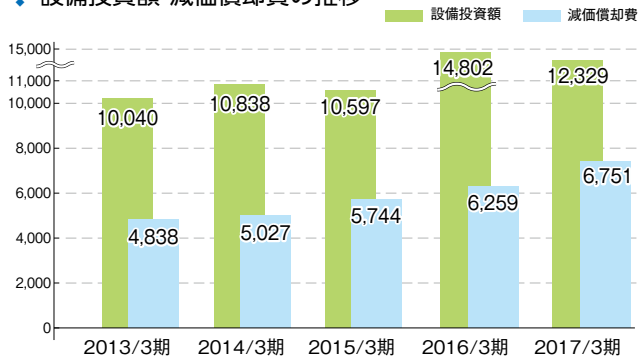
❖ 経常利益



❖ 親会社株主に帰属する当期純利益



❖ 設備投資額・減価償却費の推移



❖ 主要財務指標

	2014/3 末	2015/3 末	2016/3 末	2017/3 末	対前期末比
自己資本当期純利益率 (ROE)	13.1%	10.8%	9.0%	5.9%	△ 3.0P
自己資本比率	37.3%	37.4%	35.8%	29.1%	△ 6.6P
純有利子負債 (有利子負債－現金)	15,844	17,964	23,237	49,108	+25,871

次期の市場環境につきましては、当社グループの主要産業分野である自動車業界は、世界の三大市場である中国、米国および欧州においてはかつての大きな伸びは期待できないものの、堅調に推移すると見込んでおります。わが国でも、国内生産台数は現状ペースで推移するものと想定しております。一方、インドやASEAN諸国などのアジア地域では需要の伸びが見込まれることもあり世界全体の新車販売台数は緩やかな増加基調が継続するものと予想されます。

非自動車分野における造船業界につきましては、平成28年(暦年ベース)の世界の新造船受注量が記録的な不振だったことから、新造船受注環境は改善に向かうものと思われるが、船腹過剰の解消には今しばらくの時間を要するものと予想されます。

建設機械業界につきましては、国内では建設投資が活発となり海外では大きな市場である中国需要をはじめとして総じて底入れ感が顕在化してきており、全体では需要の回復が予想されます。

一般産業分野につきましては、電力・エネルギー分野に使用される特殊軸受や新たな市場分野の電気二重層キャパシタ用電極シートの堅調な需要が見込まれます。

当社グループは、引き続き中期経営計画に基づき、自動車用エンジン軸受のみならず、すべり軸受の全ての産業分野においてグローバルビジネスの拡大を推進するとともに、更なるコスト削減と利益創出に努めてまいります。

単位：百万円（百万円未満四捨五入）

通期 連結業績	【当期】 2017 年 3 月期 (実績)	【次期】 2018 年 3 月期 (予想)	増減額	増減率
売上高	85,073	96,000	+10,927	+12.8%
営業利益 (同利益率)	5,103 (6.0%)	7,000 (7.3%)	+1,897	+37.1%
経常利益 (同利益率)	5,427 (6.4%)	7,100 (7.4%)	+1,673	+30.8%
親会社株主に 帰属する 当期純利益 (同利益率)	2,635 (3.1%)	4,200 (4.4%)	+1,565	+59.3%

※次期想定為替レート：105 円 / 米ドル、115 円 / ユーロ

※業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

配当について

当期の期末配当につきましては、通期の連結業績などを総合的に勘案した結果「1株当たり15円」といたしたいと存じます。これにより、中間配当実績「1株当たり15円」を加えた当期の年間配当は「1株当たり30円」となります。

なお、次期の配当につきましては、当期と同額の中間配当「1株当たり15円」、期末配当「1株当たり15円」の、年間配当「1株当たり30円」を予定しております。

	【前期】 2016 年 3 月期	【当期】 2017 年 3 月期	【次期】 2018 年 3 月期
中間	13 円	15 円	予定 15 円
期末	13 円	15 円	予定 15 円
年間配当	26 円	30 円	予定 30 円

Stage 1 2012年度～2014年度

第1ステージの総括

時 期	拠点 及び 内容	進捗状況
第1ステージ (2012 年度～ 2014 年度)	ダイナメタル CO.,LTD.(タイ) 第3工場	完成
	大同精密金属(蘇州)有限公司 第2工場	完成
	大同メタルチェコ s.r.o. 第2工場	完成
	PT. 大同メタルインドネシア 第2工場	完成
	大同メタルメキシコ S.A. DE C.V. 新工場	完成
	大同メタルメキシコ販売 S.A. DE C.V.	設立
	欧州テクニカルセンター(チェコ)	設置

拡販・開拓

2012 年	BMW社より「3シリーズ」と「1シリーズ」に搭載する新型ディーゼルエンジン用軸受受注
2013 年	アルストム社と水力発電設備用スラストベアリングパッドの供給契約を締結
2014 年	ボルボ社より新型のガソリン及びディーゼルエンジン向け軸受を新たに受注

Stage 2 2015年度～2017年度

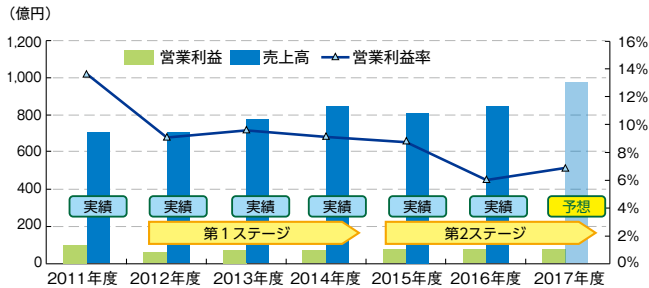
第2ステージの計画・進捗

時 期	拠点 及び 内容 (予定を含む)	進捗状況
第2ステージ (2015 年度～ 2017 年度)	大同メタル佐賀(株)設立 軸受材料等工場	2016 年 8 月より稼働
	自動車用エンジン軸受工場立ち上げ(インド)	2015 年 9 月より稼働
	自動車用エンジン軸受の生産能力増強(中国)	2017 年内予定
	トラック用エンジン軸受事業の立ち上げ(ロシア)	2016 年 2 月より稼働

主要施策

- 1 欧州の2拠点(英国、チェコ)に続き、**米国にも設計・研究開発拠点を設置**しグローバルにお取引先の設計・研究開発をサポート
- 2 欧州のテクニカルセンターの設計エンジニアを、よりお客様に近いドイツシュツットガルト郊外へ移し、営業と一体化し迅速に展開する体制を構築

実績・予想



売上高	703 億円	708 億円	773 億円	850 億円	814 億円	850 億円	960 億円
営業利益	95 億円	62 億円	73 億円	76 億円	71 億円	51 億円	70 億円
営業利益率	13.5%	8.9%	9.5%	9.0%	8.7%	6.0%	7.3%

当社グループの業界グローバルシェア

※シェアは当社推定

	2010 年暦年 (中期経営計画 立案前)	2016 年暦年	第2ステージ 最終目標値 (2017 年度)
自動車エンジン用半割軸受 TOP	30%	32.5%	40%
ターボチャージャー用軸受 (スモールターボ) TOP	26%	28%	40%
低速ディーゼルエンジン用軸受 (大型船舶用) TOP	53%	45%	60%
中高速ディーゼルエンジン用軸受 (建設機械・中小型船舶用)	30%	14%	35%
回転機械用軸受 ★ (発電用タービンなど)	—	4%	6%
ポリマー軸受 (一般産業用)	10%	12%	16%

★第1ステージ中に組織変更 (TMBS 事業部設立) に伴う、中期経営計画立案前シェアは非適及のため「—」表示。

Topics

中長期的な製品・事業の多角化と多面的な拡大を目指し、株式会社飯野ホールディングとATAキャスティングテクノロジージャパン株式会社を子会社化しました。そして、2社を当社の有するグローバルな生産及び販売体制と連携させることで、益々グローバルな事業展開を加速させ、人事交流や技術・ノウハウの共有化を通じた技術力・生産力の向上、運営体制の効率化などが可能になると考えております。これらの取り組みを通じて、当社グループとして、次期中期経営計画期間における新たな飛躍への礎を築くことを企図しております。

|(株)飯野ホールディング

自動車用エンジンやトランスミッション周辺の高精度・高品質部品(曲げパイプ、ノックピン、NC切削品等)の製造・販売を行っており、取引先の自動車メーカー及び自動車部品メーカーから高い技術力を認められている企業です。



ATAキャスティング テクノロジージャパン(株)

タイにおいて自動車向けアルミダイカスト製品の製造及び販売を行っており、取引先の自動車メーカー及び自動車部品メーカーから高い技術力を認められている企業です。



会社概要

(2017年3月31日現在)

設立	1939 年（昭和 14 年）11 月 4 日		
資本金	7,273 百万円		
従業員数	連結 6,321 名／個別 1,255 名		
事業内容	●自動車用エンジン軸受 自動車(乗用車・トラック・レーシングカー)エンジン用軸受、二輪エンジン用軸受、エンジン補機(ターボチャージャー・バルンサー機構)用軸受など ●自動車用エンジン以外軸受 自動車部品(トランスミッション、ショックアブソーバー、空調用コンプレッサー、ステアリング、インジェクションポンプ等)用軸受など ●非自動車用軸受 低速(2サイクル)ディーゼルエンジン用軸受、中高速(4サイクル)ディーゼルエンジン用軸受、発電(水車・タービン等)用軸受、産業用(コンプレッサー・増減速機等)軸受など ●自動車用軸受以外部品 自動車用エンジンやトランスミッション周辺の高精度・高品質部品(曲げパイプ、ノックピン、NC切削品等)、自動車用アルミダイカスト製品など ●その他 金属系無潤滑軸受事業、ポンプ関連製品事業、電気二重層キャパシタ用電極シート事業、不動産賃貸事業など		
本社	名古屋本社	〒460-0008	名古屋市中区栄二丁目3番1号 名古屋広小路ビルディング 13 階
	東京本社	〒140-0002	東京都品川区東品川二丁目2番24号 天王洲セントラルタワー17階
国内生産拠点	犬山工場（犬山事業所内） 前原工場（犬山事業所内） バイメタル製造所（犬山事業所内） 岐阜工場 TMBS 工場（犬山事業所内） TMBS = Turbomachinery Bearing Systems（回転機械用軸受）		
国内販売拠点	東京支店、名古屋支店、大阪支店、北関東営業所、浜松営業所、広島営業所、九州営業所、		
関係会社	●国内 大同プレーンベアリング株式会社、エヌデーシー株式会社、大同インダストリアルベアリングジャパン株式会社、大同メタル佐賀株式会社、大同メタル販売株式会社、エヌデーシー販売株式会社、大同ロジテック株式会社、株式会社アジアケルメット製作所、株式会社飯野製作所、ATA キャスティングテクノロジージャパン株式会社 ●海外 （主な拠点） 【アジア】 中京大同股份有限公司（台湾） PT. 大同メタルインドネシア（インドネシア） 同晟金属株式会社（韓国） BBL 大同プライベート LTD.（インド） ダイナメタル CO., LTD.（タイ） 韓国ドライベアリング株式会社（韓国） フィリピン飯野 Corp（フィリピン） PT. 飯野インドネシア（インドネシア） ATA キャスティングテクノロジー CO., LTD.（タイ） シッポウアサヒモールズ CO., LTD.（タイ） 【中国】 大同精密金属（蘇州）有限公司（中国） 飯野（佛山）科技有限公司（中国） 【ヨーロッパ】 大同インダストリアルベアリングヨーロッパ LTD.（イギリス） 大同メタルコントロール AD（モンテネグロ） 大同メタルヨーロッパ GmbH（ドイツ） 大同メタルチェコ s.r.o.（チェコ） 大同メタルヨーロッパ LTD.（イギリス） 大同メタルロシア LLC（ロシア） 【北米】 大同メタル U.S.A. INC.（米国） 大同メタルメキシコ販売 S.A. DE C.V.（メキシコ） ISS メキシコマニュファクチャリング S.A. DE C.V.（メキシコ） 大同メタルメキシコ S.A. DE C.V.（メキシコ） ISS アメリカ INC.（アメリカ）		

役員

(2017年7月1日現在)

【取締役及び監査役】

代表取締役会長 兼最高経営責任者	判 治 誠 吾
代表取締役社長 兼最高執行責任者	榎 山 恒 太 郎
取締役 兼専務執行役員	佐 々 木 利 行
取締役 兼専務執行役員	井 川 雅 樹（昇任）
☆ 取締役	武 井 敏 一
☆ 取締役	星 長 清 隆
常 勤 監 査 役	玉 谷 昌 明
☆ 監 査 役	田 辺 邦 子
☆ 監 査 役	松 田 和 雄

【注】 ☆印は会社法に定める社外取締役及び社外監査役であります。

【執行役員】

常 務 執 行 役 員	岡 戸 篤
常 務 執 行 役 員	小 暮 圭 一
常 務 執 行 役 員	吉 田 秀 雄
上 席 執 行 役 員	佐 藤 善 昭
上 席 執 行 役 員	三 代 元 之
上 席 執 行 役 員	宮 脇 敏 之
上 席 執 行 役 員	鬼 頭 幸 裕
執 行 役 員	浅 井 眞 吾
執 行 役 員	佐 々 木 秀 明
執 行 役 員	古 川 智 充
執 行 役 員	平 松 伸 隆
執 行 役 員	吉 田 有 宏
執 行 役 員	橋 口 俊 哉
執 行 役 員	墓 越 繁 昌
執 行 役 員	正 田 健 二（新任）

株式事項 (2017年3月31日現在)

株式の状況

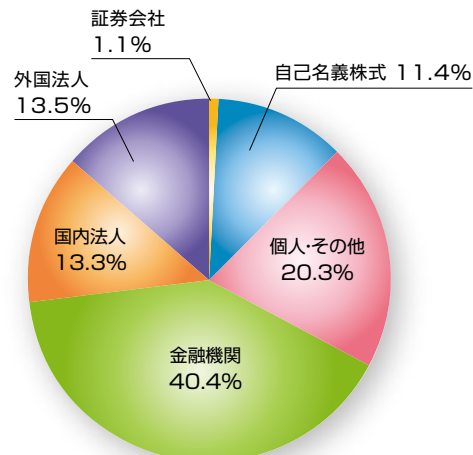
発行可能株式総数 80,000,000 株
 発行済株式の総数 44,956,853 株 (自己株式 5,140,926 株を含む)
 株 主 数 4,411 名

大株主

株 主 名	持株数 (千株)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	3,028
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	2,262
三井住友信託銀行株式会社	1,978
株式会社みずほ銀行	1,977
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,822
東京海上日動火災保険株式会社	1,661
大同メタル友栄会持株会	1,295
ザ セリ ワタナ インダストリー カンパニー リミテッド 703000	1,000
日新製鋼株式会社	909
伊藤忠丸紅鉄鋼株式会社	886

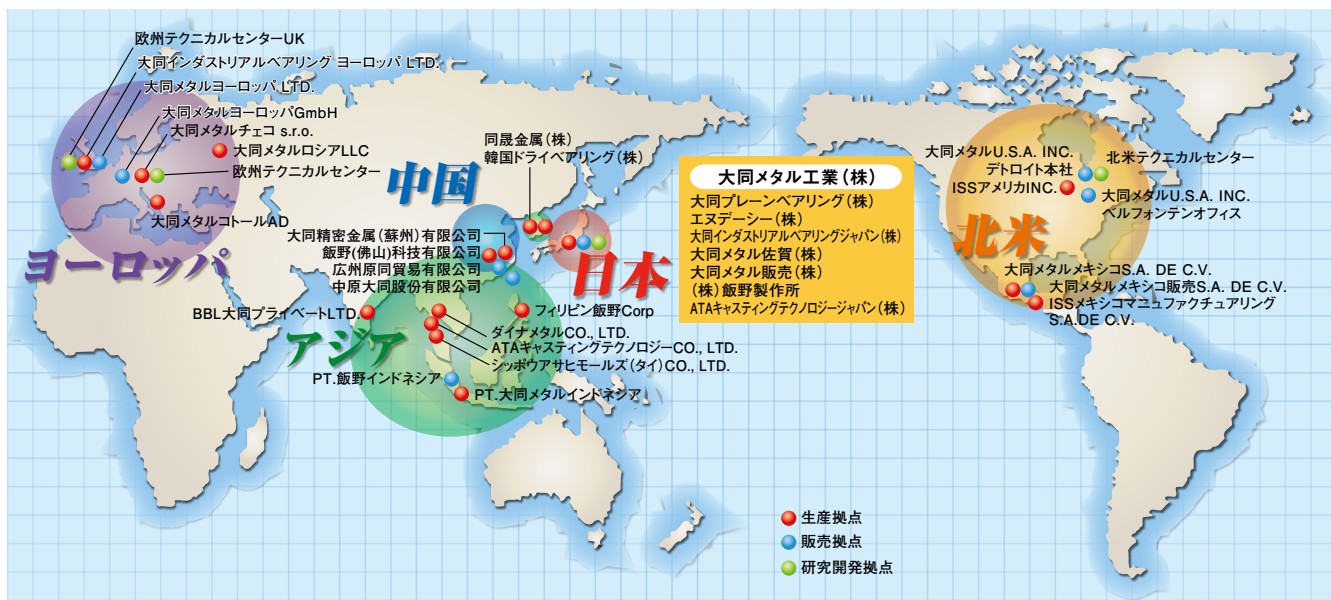
(注) 当社は自己株式5,140,926株を保有しておりますが、上記大株主からは除いております。

所有者別株式保有状況



グローバルネットワーク (主な拠点)

(2017年7月1日現在)



事業年度	毎年 4 月 1 日から翌年 3 月 31 日まで	株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目 4 番 1 号 三井住友信託銀行株式会社
定時株主総会	毎年 6 月		
基準日	定時株主総会：毎年 3 月 31 日 期 末 配 当：毎年 3 月 31 日 中 間 配 当：毎年 9 月 30 日	特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目 4 番 1 号 三井住友信託銀行株式会社
単元株式数	100 株	郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目 8 番 4 号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の 本店及び全国各支店で行っております。
公告方法	電子公告の方法により、当社のホームページ (http://www.daidometal.com/) に掲載 します。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって 電子公告をすることができない場合は、日本経 済新聞に掲載します。		
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部、名古屋証券取引所市場第一部		

株式に関する諸手続のご案内

住所変更、単元未満株式の買取等 お申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

復興特別所得税について

2013年1月1日から2037年12月31日までの間(25年間)は、「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」が施行されており、「復興特別所得税」として0.315%(所得税額に対して2.1%)が併せて課税されています。

「配当金計算書」について

配当金お支払の際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。

ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行なわれます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社にご確認をお願いします。

なお、「配当金領収証」にて配当金をお受取りの株主様につきましては、配当金のお支払の都度「配当金計算書」を同封させていただいております。確定申告をなされる株主様は大切に保管ください。

未払配当金のお支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

三井住友信託銀行株式会社

1 株式事務に関するご質問 (フリーダイヤル)
0120-782-031 [受付時間：平日 9:00 ~ 17:00]

2 インターネットによる株式に関する諸手続のご案内
<http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

大同メタル工業株式会社



<http://www.daidometal.com/>



環境に配慮した
「植物油インキ」を
使用しています。



適切に管理された森林で
生産されたことを示す「FSC®」
認証紙を使用しています。